

第30期生(2025年4月入学生)募集中!

伝統の大工技術を体験しながら、
建築の本質を学ぶ東京建築カレッジ
入学対象者をご紹介ください



カレッジ通信

編集・発行
東京建築カレッジ

授業見学
大歓迎!
Tel. 03
(5950)
1771

新築建築物に占める木造建築物の割合は低層住宅では8割以上(国土交通省、2023年度)。その主流は柱と梁で構造をつくる木造軸組み工法です。東京建築カレッジでは1年次の「木造軸組み実習」と2階建ての「実習棟実習」で、実践的に学習します。現代の新築戸建てのほとんどはプレカット材の組み立て工事のため、図面の理解、材料の墨付け、刻み、組み立てまで一貫して学べる教育はとても貴重です。



4月から学んだことを復習しながら墨付け、刻みを分担。軸組みの小屋の躯体をチームワークで完成させました。1年生(第29期生)の「木造軸組み実習」最終日(9月28日、江東実習場)

手刻みで建築構造をつくる

木造建築の方法にはいくつかありますが、垂直材の柱と横架材の梁(はり)を組み上げて構造をつくる方法(木造軸組み工法)が日本では主流です。カレッジでは、継手や仕口の加工を一通り習った後に、小屋づくり挑戦します。柱や梁などの位置を示す平面図(伏図)を「板図」(いたず)に落とし込むところから授業は始まります。建物の基本構造を図面でしっかり理解した後に、班に分かれて、材料の墨付け・加工、そして建方、と進み、木造軸組み工法の流れを体感します。

この小屋づくりで流れをつかみ、前期の1年生が建てた2階建ての実習棟の解体実習(10月5日・12日)の後、11月から実習棟実習が本格化します。

東京建築カレッジの「実習棟」は、1階部分「伝統構法」、2階部分が「在来構法」のハイブリット構造。屋根の小屋組みは6メートルを超える高度のため、フルハーネス特別教育など安全教育も徹底し授業を進めます。間口2間×奥行2間半(1間×約1・8メートル)の狭小住宅とはいえ、2階建ての軸組みを先生の指導を受けながら新人が建てる授業は珍しく、さらに、この実習棟を使った構造実験もおこなう教育は類例がありません。カレッジに入学すれば、この授業プログラムを体験できます。授業見学を歓迎します。事前にご連絡ください。

1年生の授業から

実習棟実習が本格化
見学を歓迎します

東京建築カレッジの「実習棟」は、1階部分「伝統構法」、2階部分が「在来構法」のハイブリット構造。屋根の小屋組みは6メートルを超える高度のため、フルハーネス特別教育など安全教育も徹底し授業を進めます。間口2間×奥行2間半(1間×約1・8メートル)の狭小住宅とはいえ、2階建ての軸組みを先生の指導を受けながら新人が建てる授業は珍しく、さらに、この実習棟を使った構造実験もおこなう教育は類例がありません。カレッジに入学すれば、この授業プログラムを体験できます。授業見学を歓迎します。事前にご連絡ください。

9月15日に競技がおこなわれた「全建総連 第40回全国青年技能競技大会」(愛媛県、出場選手51人、競技課題「四方転び踏み台」)で、第27期生 岩本将希さんは第15位、入賞でした。金賞は、岩本さんと共に東京代表で出場した四宮藍さん。もう一人の東京代表の三浦伸晃さんは第13位、入賞でした。なお、3人とも都立田無工科(旧校名「工業」)高校 建築科卒業生です。

27期 岩本さん入賞 「全国青年技能競技大会」





東京建築カレッジ生は様々な活動に参加しています。2年生(第28期生)の大懸優晴さん(=上写真)は9月18日~20におこなわれた「武蔵村山市立第五中学校 職場体験」で中学2年生に大工仕事を指導しました。父の大輔さんが役員を務める東京土建村山大和支部の地域活動の一環。大工や工務店の仕事のやりがいを木工ベンチ作りを指導しながら伝えました。

地域活動や集会参加、活躍多彩に

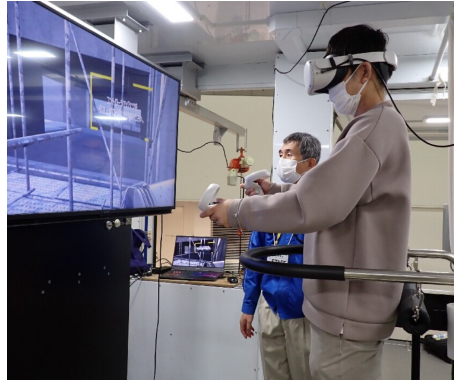


女性入職を阻む「現場のトイレ」改善を要求

同じく2年生の小堀晴野さん(=上写真左端、東京土建豊島支部)は9月24日、「建設業で働く女性技能者交流会」(全建総連)に参加。大工3年目の今、思うことを伸び伸びと発言しました。グループトークでは具体的な改善要求で参加者の思いが一致しました。「女性用トイレは改善しやすい。女性就労者がいる現場に設置を義務化をしてほしい。女性の定着しやすい労働環境は、男性にも過ごしやすい環境になる」と小堀さん。

建災防大会に参加 (東京ビッグサイトほか) 「建築労働論」授業で

2年生の授業から



清水建設の安全体感車「養割号」で、VR体感装置を試す研修生(上写真)全国の現場を巡回しているそうです。

2年生(第28期生)は、10月3日午後の「建築労働論」で「創立60周年記念全国建設業労働災害防止大会」(主催 建設業労働災害防止協会)の初日行事に参加

加しました。担当講師は小林謙二学校長です。建設業の最優先課題は安全。業界全体による大がかりな安全衛生活動と安全対策の最前線を知ってもらおうことが狙い。

会場には「安全衛生保護員・測定機器・安全標識等展示会」コーナーがあり、各社のブースを熱心に見て回る研修生もいました。

入社したら建築カレッジに研修派遣 就職先を紹介しします!

東京建築カレッジの求人事例。ホームページには全社の求人情報を掲載中。

株式会社 大和建設 (株) YAZAWA LUMBER
東京・世界の一流大工職人、職人になるぞ!

大工、世帯一人暮らしや子育てから始めるまで大工の仕事、これからの時代に必要不可欠な仕事が豊富にあります。第一歩は職人としてのスキルを磨き、キャリアアップを目指します!

【求職者の方へ】
① 大工 2名(未経験可、未経験者歓迎)
② 大工 2名(未経験可、未経験者歓迎)
③ 大工 2名(未経験可、未経験者歓迎)
④ 大工 2名(未経験可、未経験者歓迎)
⑤ 大工 2名(未経験可、未経験者歓迎)
⑥ 大工 2名(未経験可、未経験者歓迎)
⑦ 大工 2名(未経験可、未経験者歓迎)
⑧ 大工 2名(未経験可、未経験者歓迎)
⑨ 大工 2名(未経験可、未経験者歓迎)
⑩ 大工 2名(未経験可、未経験者歓迎)

来年4月入学生(第30期生)募集中!
授業・学校見学歓迎!
お問い合わせはお気軽に!!

学校紹介・募集要項は

こちら⇒
電話03・5950・1771 建築カレッジ係

